sysmex

第52期　第2四半期株主通信
2018年4月1日—2018年9月30日
証券コード 6869

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

シスメックス 挑戦の軌跡 ❸

海外市場への挑戦

5ページ

キリマンジャロ国立公園（タンザニア）

Lighting the way with diagnostics

▶▶ 詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

国内・海外ともに試薬売上が堅調に推移し、増収・増益を達成しました。

代表取締役会長兼社長 CEO
家次 恒

いえつぐ ひさし
【出身地】大阪【略 歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亞医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。【趣 味】読書、スポーツ観戦【信 条】「意あらば通ず」

ポイント1 ヘマトロジー分野*などを中心に試薬の売上が伸長し、増収を達成

ポイント2 四半期利益*は、為替差損の影響があるも税負担率の低下などにより微増

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2019年3月期 第2四半期の業績は、ヘマトロジー分野やライフサイエンス分野を中心に全所在地において試薬の売上が伸長し、増収・増益を達成しました。また、四半期利益は為替差損などの影響があったものの、税負担率の低下などにより微増となりました。売上高は前年同期比3.9%増、営業利益は同1.8%増、四半期利益は同1.5%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比3.5%増、営業利益は同1.4%増となります。

国内は、試薬の売上が伸長するも、ビオメリュー社との合弁解消の影響などにより減収となりました。海外は、新興国などにおける機器の設置台数の増加に伴う試薬の売上の伸長や、アジア地域での免疫検査分野の好調な推移などにより増収となりました。これらの結果、当社グループの海外売上高比率は84.6%となりました。

なお、2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、主に国内およびEMEA*地域の売上高が前回予想を下回ったことなどを踏まえ、売上高は前年同期比6.4%増、営業利益は同0.1%減、当期利益*は同0.7%増を見込んでいます。ヘマトロジー・尿・血液凝固検査分野の新製品の販促強化などにより機器売上の伸長を促進するとともに、ライフサイエンス事業など新たな分野での活動を強化することにより、持続的な成長を目指します。

配当につきましては、年初予想の通り、年間で68円（中間34円・期末34円）を予定しております。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■2019年3月期通期業績予想　（億円）

	売上高	営業利益	当期利益
2018年11月発表	3,000	590	395
2018年5月発表	3,100	620	425
【参考】2018年3月期実績	2,819	590	392

■想定為替レート　（円）

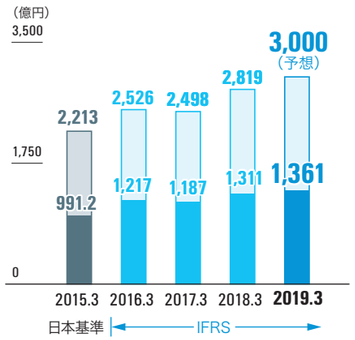
1USドル	1ユーロ	1元
110.1	129.9	16.6
110.0	130.0	16.5
110.9	129.7	16.8

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

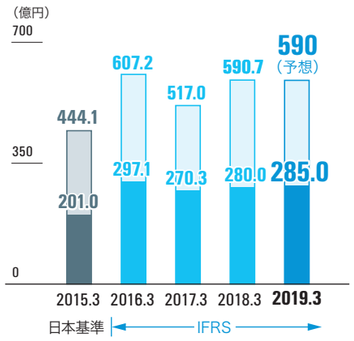
*四半期（当期）利益：親会社の所有者に帰属する四半期（当期）利益。

通期　第2四半期

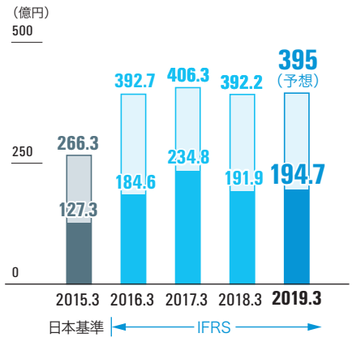
売上高　3.9%増（前年同期比）



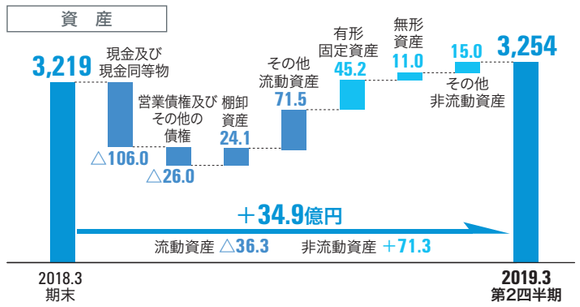
営業利益　1.8%増（前年同期比）

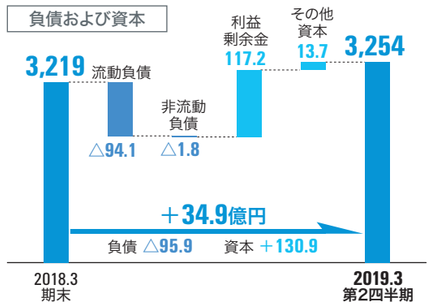


四半期（当期）利益*　1.5%増（前年同期比）

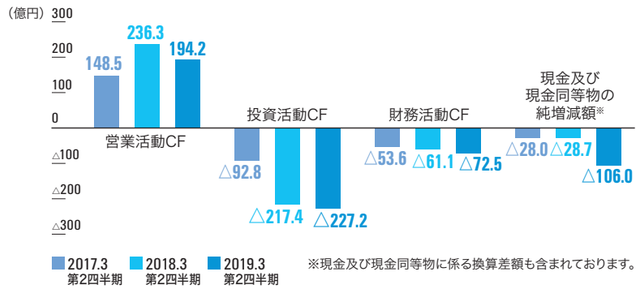


■連結財政状態計算書の増減要因　（億円）



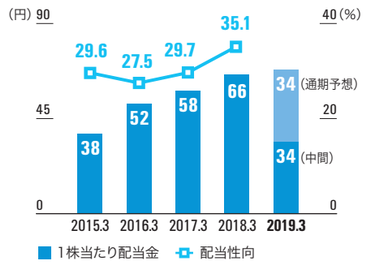


■キャッシュ・フローの推移



※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。

■1株当たり配当金／配当性向



利益配分（配当）に関する考え方について

当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

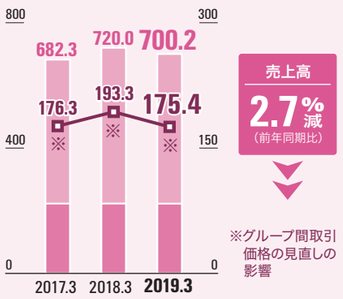
*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

所在地別セグメント

〈為替レート（期中平均）〉 （円）

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期
1USドル	105.3	111.1	110.3
1ユーロ	118.2	126.3	129.9
1中国元	15.9	16.4	16.8

日本



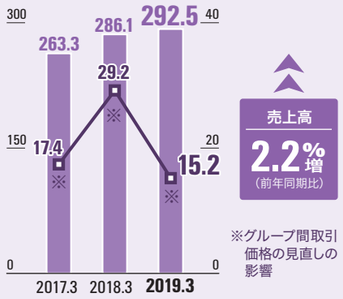
■内部売上高：関係会社への輸出など
■外部売上高：日本のほかに、IDEXX社向けなどの売上を含む。

（前年同期比） 営業利益 9.3%減

1 国内での試薬売上が伸長するも、ビオメリュー社との合弁解消や海外関係会社への売上減少により、減収

2 研究開発費の増加に加え、海外関係会社への売上減少が影響し、減益

米州

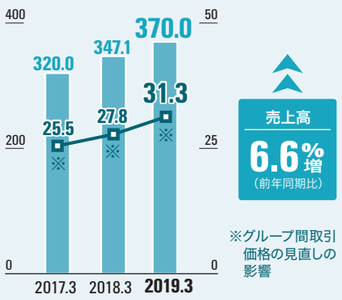


現地通貨ベース（前年同期比） 売上高 3.0%増 営業利益 47.4%減

1 米国でヘマトロジー分野*の試薬や血液凝固検査機器の売上が伸長したほか、中南米で尿分野の新製品の売上が伸長し、増収

2 グループ間取引価格の見直しなどの影響が増収効果を上回り、減益

EMEA*

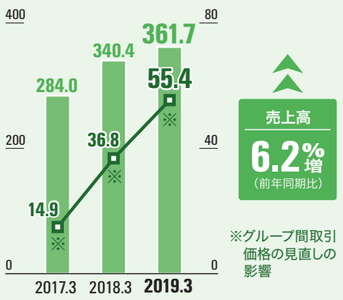


現地通貨ベース（前年同期比） 売上高 3.7%増 営業利益 9.4%増

1 新興国の通貨安の影響があるも、ヘマトロジー分野やライフサイエンス分野の売上が伸長し、増収

2 増収効果による粗利益の増加や、グループ間取引価格の見直しなどにより原価率が改善し、増益

中国

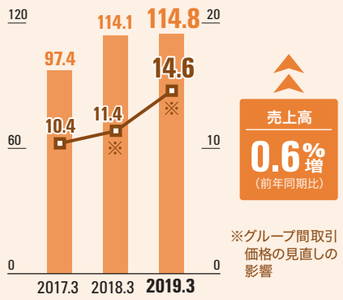


現地通貨ベース（前年同期比） 売上高 4.2%増 営業利益 47.6%増

1 好調な免疫検査分野の伸長に加え、ヘマトロジー分野や血液凝固検査分野で試薬の売上が伸長し、増収

2 グループ間取引価格の見直しの影響はあるも、試薬の売上伸長などにより原価率が改善し、大幅な増益

アジア・パシフィック



※アジア・パシフィックについては、2014年3月期より円貨のみの開示としています。

円ベース（前年同期比） 営業利益 27.8%増

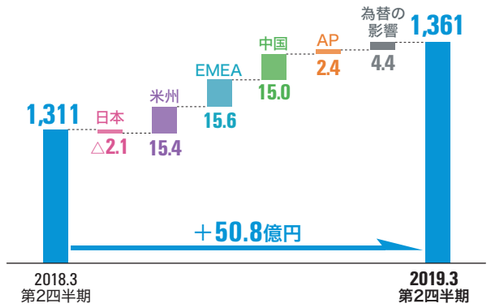
1 前年同期の南アジアでの大型案件の影響はあるも、東南アジアや台湾、韓国での売上が伸長し、横ばい

2 グループ間取引価格の見直しや販売管理費の増加の影響はあるも、試薬の売上伸長などにより増益

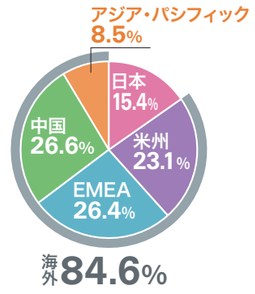
（注）日本からモンゴルなどへの直接販売は、日本の外部売上高に含む。

地域別・事業別セグメント

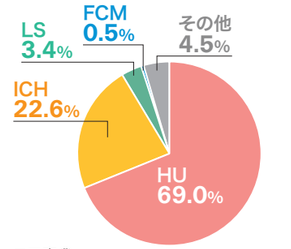
■地域別売上高の増減要因 （億円）
※各地域の売上高は為替の影響を除く



■地域別売上高構成比



■事業別売上高構成比



コア事業
HU…Hematology（ヘマトロジー）
Urinalysis（尿）
ICH…Immunochemistry（免疫）
Clinical chemistry（生化学）
Hemostasis（血液凝固）

ネクストコア事業
LS……Life Science（ライフサイエンス）
FCM…Flow CytoMetry（フローサイトメトリー）

グローバルレポート

HIVの診断や治療に貢献するシステムがWHO*の事前認証を取得

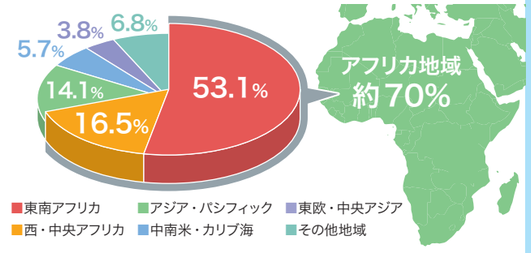
2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」には、「2030年までにエイズの蔓延を食い止める」という目標が掲げられています。この目標を実現するには早期発見および適切な治療が不可欠です。なかでも、体の免疫機能の中心的な役割を担う「CD4陽性リンパ球」の数や比率を調べる検査は、HIV感染者の治療方針確定や治療効果のモニタリングに重要な役割を果たしています。

シスメックスは、CD4陽性リンパ球の診断や治療に貢献する検査システムを、新興国や開発途上国の医療施設を含む世界中のお客様に提供しています。このたび本検査システムがWHO事前認証を取得したことで、医療資源が限られているサハラ以南のアフリカを含めた国や地域にも、より広くお届けすることが可能になりました。今後も一人でも多くの方が適切な医療を受けられるよう、世界各地の医療課題の解決や医療アクセスの改善を支援する製品・サービスを提供し、世界中のお客様に安心をお届けします。

WHO事前認証を取得した「CyFlow™ Counter」

WHO事前認証とは…医薬品や検査・ワクチンなどのヘルスケア製品を資源の限られた国々で安心して使用できるようにするため、WHOが品質や安全性、効能などを担保していることを示す認証制度。国連やその他の調達機関が臨床検査機器などを購入する際の判断材料として参照されます。

推定HIV感染者数※ 約3,700万人



シスメックスはHIVの診断や治療の質向上に貢献しているんだね

世界で最もHIV感染者の多い地域は、サハラ以南のアフリカなのよ

※出典：UNAIDS「Global HIV & AIDS statistics-2018 fact sheet」

*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*WHO：世界保健機構。World Health Organizationの略称。

海外市場への挑戦

2018年に創立50周年を迎えた当社の歴史をご紹介する当シリーズ。
第3回となる今回は、創立後すぐに海外への事業拡大に挑戦し、
グローバル企業へと成長を遂げるまでの歴史についてご紹介します。

1972 当社初の海外拠点であるドイツ駐在員事務所を設立。当時、海外における販売・サービスは、全て代理店が担っていました。

1991 イギリスで海外初の直接販売・サービスを開始。この挑戦は、その後の当社の海外戦略に大きな影響を与えます。

1995～

需要の増加を受け、1995年に中国に試薬生産拠点を設立。翌年には、アジアにおける事業基盤整備への積極的な投資を決断しました。

2003 世界最大の市場・　米国で直接販売・サービスを開始。お客様の満足度が向上し、シェアを大きく伸ばしました。

シスメックスの強み

190カ国以上をカバーするグローバルネットワーク

グローバルに収益を創出できる企業へと変革を遂げるため、当社は先進国に加え新興国にも積極的に拠点を設立してきました。直接販売・サービス&サポートによりお客様のご要望にきめ細かくお応えするだけでなく、アライアンスなどによるネットワークを活用した間接販売により、海外展開を加速させています。現在では海外グループ会社の数は50社を超え、世界190カ国以上のお客様に製品やサービス&サポートをお届けする体制を整えています。

海外での事業拡大の転機となった直接販売・サービスへの挑戦

創業当初から海外進出を視野に入れていた当社は、お客様の期待を超える価値の提供により競争優位性を高めるとともに（第52期第1四半期株主通信ご参照）、グローバルでの販売・サービス体制の強化を進めてきました。

まず最初に、ヨーロッパで現地の代理店を介した販売網の構築に挑戦。1972年にはドイツに初の海外拠点を設立し、順調に顧客基盤を拡大していきました。一方、イギリスでは、すでに競合他社が進出していたことに加え、代理店の選定に難航し、思うように市場開拓は進みませんでした。ようやく代理店を見つけて軌道に乗り始めた矢先、その代理店がヘルスケア部門から撤退するという知らせが届きます。当社は、イギリス市場の特性やこれまでの経緯を鑑みて直接販売への移行を決断。こうしてシスメックスは、1991年にイギリスで海外初の直接販売・サービスを開始しました。**お客様の声を直接聞くことによりニーズへの的確な対応が可能となり、イギリスでの事業は順調に拡大します。**これは当社にとって大きな挑戦であり、その後の海外戦略の方向性を変える大きなターニングポイントとなりました。

世界最大の市場である米国では、1981年に代理店販売を開始し、北米全土でのシェアを拡大していきました。その後、1998年には世界有数のヘルスケア企業であるロシュ社と業務提携を締結し、同社のグローバルな販売・サービス網を活用することで、着実に業績を拡大していきました。そして2003年、満を持して米国市場での直接販売・サービスを開始した当社は、搬送システム製品の提案を通じた検査の効率化支援や、先進的なサービス&サポートの仕組みなどがお客様に高く評価され、シェアを大きく伸ばしていくことに成功します。

真のグローバル企業を目指した市場の先読みと持続的な挑戦

このように欧米市場の開拓を進める一方で、当社は中国を含むアジア市場にもいち早く進出しました。1990年代に入ると、アジア市場は目覚ましい成長を見せ始めていましたが、当時はまだ市場規模が小さく、欧米の競合他社は関心を示していませんでした。そのような中、当社は中国に試薬生産拠点を設立。1996年には、社長に就任した家次恒（現・代表取締役会長兼社長　CEO）が自らアジア地域を視察し、積極的な投資を決断します。そして、1998年のシンガポールを皮切りに、マレーシア、インド（1998年）、タイ（1999年）、インドネシア（2002年）と次々に現地法人を設立。このように当社は、**時流を読み海外での事業基盤の整備を進めていくことで、2000年代以降から飛躍的な成長を遂げていきました。**

さらに2010年代に入ると、経済成長に伴いヘルスケア市場の拡大が見込まれる新興国において、事業基盤の整備をより一層、加速させました。例えば、ロシア（2011年）、トルコ（2013年）、コロンビア（2014年）、ガーナ（2015年）、エジプト（2018年）などへの現地法人の設立や、地域の特性に応じて販売・サービス体制を整備。着実に事業を拡大してきた結果、現在の海外売上高比率は80%以上に至っています。

創立後すぐに始まった当社の海外における事業拡大への挑戦は、現在もなお、続いています。新たな製品や検査・診断価値を世界中のお客様にお届けするため、シスメックスはこれからもグローバルネットワークの拡充に努めていきます。

次回は「未知なる領域への挑戦」についてご紹介します。

株主様会社見学会のご案内

当社では、株主の皆様に当社へのご理解をより一層深めていただけるよう、会社見学会を開催しています。今年度は、50周年の感謝の気持ちを込めて、より多くの株主様にご参加いただけるよう、回数を増やして開催します。ぜひ、ご応募ください。

見学場所	機器生産拠点「アイ スクエア」（所在地：兵庫県加古川市）
開催日時	2019年3月14日（木）14:00（集合）／17:00頃（解散） 2019年3月15日（金）午前の部：9:40（集合）／12:40頃（解散） 午後の部：14:00（集合）／17:00頃（解散）
対象者	2018年9月30日現在、当社株式100株以上をご所有の株主様
集合・解散場所	JR加古川駅 近辺（予定）
参加費	無料

応募要領

- ■募集人数…240名（各80名）
- ■応募方法…同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、ご送付ください。
- ■応募締切日…2018年12月28日（金）当日消印有効

※応募人数が多数の場合は、抽選とさせていただきます。抽選結果は、2019年2月中旬に応募者全員に郵送にてお知らせいたします。
※ご見学に1時間30分ほどお歩きいただきますので、ご了承ください。

【お問合せ先】 シスメックス株式会社 IR・広報部 会社見学会係 Tel 078-265-0515 受付時間：10:00～17:00（土・日・祝祭日、その他会社の休業日を除く）

Topics トピックス

格付投資情報センター（R&I）による当社発行体格付の引き上げ

株式会社格付投資情報センター（R&I）による当社の発行体格付が、2018年8月22日付で「A+/ポジティブ」から「AA−/安定的」に引き上げられました。引き上げの主な理由については、「高水準で安定した収益性を維持・拡充できている」ことなどが挙げられています。

A+（2012年） → AA-（2018年）

「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に3年連続選定

経済・環境・社会の3つの側面から企業を分析し、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」の構成銘柄に、3年連続で選定されました。ヘルスケア機器・サービスセクターにおいて、日本企業では唯一当社のみが選定されています。

MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In Collaboration with RobecoSAM

会社概要

（2018年9月30日現在）

■商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION
■設立年月日	1968年2月20日
■資本金	124億9,283万円
■格付け	AA-（R&I：格付投資情報センター）
■従業員数	8,557名（連結）2,571名（単独） ＊嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容	臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法
当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

■上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
■証券コード	6869
■単元株式数	100株

■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先（郵便物送付先・電話照会先）
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777（通話料無料）

お知らせ
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

シスメックス株式会社
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073 Tel 078-265-0500 Fax 078-265-0524 www.sysmex.co.jp

再生紙、植物油インキを使用しています。